

第12回

愛知大学FDフォーラム

(テーマ)

**「無理せず、無駄なく、無茶もせず
学生、職員、教員のゆるやかな相互補完
で進める草の根からの教学改革」**

年度初めのFDフォーラム、今回は、法政大学社会学部教授 大崎雄二氏にお話しいただくこととなりました。

大崎氏は、法政大学にて社会学部FD委員会委員長を務められ、草の根からの教育改革を推進するため「社会学部における学生参加型FDの展開」や「学生・教員・職員一体型教学改革の実践」に取り組まれておられます。そのご経験をもとに、教育改革、とりわけ大学における「草の根からの教学改革」の実践例をご講演いただきます。

【日時】 2010年4月8日(木) 16:30~17:55

【会場】 愛知大学名古屋校舎 003教室

【講師】 大崎 雄二 氏 (法政大学社会学部 教授)

【主催】 愛知大学FD委員会

《大崎 雄二氏のプロフィール》

大崎 雄二 (おおさき ゆうじ) 法政大学社会学部教授

1958年福岡県生まれ。東京外国語大学卒業後、NHK記者、国際交流基金職員を経て、東京外国語大学大学院地域文化研究科で学び直し(1995年同博士後期課程中退)、1995年度から北海道大学教官、同高等教育機能開発総合センター「学生参加型授業開発プロジェクト」研究員。1998年度から法政大学教員。2002~05年度私立大学連盟教員研修運営委員会委員。2003年度から現職。専門は現代中国地域研究。共著に『東アジア共同体の可能性』(御茶の水書房)等。大学教育学会等に所属。

< 問合せ先 >

愛知大学 企画・広報課

TEL : 0532 - 47 - 4148 (内線1453)